

# まちづくり交付金 フォローアップ報告書

河内松原駅周辺地区

平成25年 4月

大阪府松原市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	商店街の通行者数	人/日	12,873	14,000	10,193	確定 見込み ●	△	あり なし ●	7,831	H25年3月	×	評価値の見込み推計に問題があった ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	大規模共同住宅の一部計画中止や商業施設(スーパー)の新設による商店街利用動線の変化を予想できなかった。
指標2	通学経路の時間短縮	分	35	20	30	確定 見込み ●	×	あり なし ●	20	H25年3月	○	— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	歩道整備により、通学路の迂回が解消され、通学時間の短縮が達成できた。
指標3	障害者の利用者数	人/年	477	600	823	確定 見込み ●	○	あり なし	960	H24年3月	○	— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	市民体育館のバリアフリー化(EV改修)により、障害者等の利便性が向上し、利用者増加に繋がった。
指標4	施設利用者数	人/年	20,000	22,000	22,247	確定 見込み ●	○	あり なし	24,304	H24年3月	○	— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	松原情報文化アメニティセンター施設の再整備により、市民等が利用しやすい環境が整備され、利用者増加に繋がった。
						確定 見込み		あり なし					

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	駅周辺の人口	人	17,623		17,772	確定 見込み ●			17,832	H25年3月	○	— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	都市基盤施設整備による交通環境及び住環境の向上により、駅周辺人口の増加につながった。
その他の数値指標2	市民図書館の貸出人数	人/年	58,495		65,195	確定 見込み ●			63,633	H24年3月	○	— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	施都市基盤施設整備による交通環境の向上により、図書館利用者数の増加につながった。
その他の数値指標3	通学経路の時間短縮	分	35		30	確定 見込み ●			—	—	—	— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	事後評価の際、指標2「通学経路の時間短縮」が未達成だったため、その指標を補完するため設定した指標であるが、フォローアップの段階で、指標2が達成できたので、本指標の評価は実施しないこととする。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	市民・行政による美化キャンペーン	整備された都市基盤施設を維持していくために、松原市アドプト・ガーデン・プログラムによる美化活動を実施。	部分的ではあるが、河内松原駅周辺地区の美化が図られた。	松原市アドプト・ガーデン・プログラムは、松原市有志職員の活動なので、今後、住民等の参加が求められる。
	公共施設の利用性向上	市広報誌による施設のPR。	市広報誌に施設内容やイベント情報を掲載することで、少しでも多くの方に利用してもらえるような施設PRができた。	松原情報文化アメニティセンターは、再整備により利用しやすい環境を整備できたが、今後は、利用者(NPO等)の相談に対応することが求められている。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	歩行空間確保のための歩道整備	歩道が整備されていない場所もあるので、引き続き歩道整備の検討を行う。	松原市新バリアフリー基本構想の中で、一部区間で歩道拡幅を進める計画を作成した。	歩道整備は、用地交渉が伴うことが多いので、継続的な取り組みが必要である。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
松原市新バリアフリー基本構想による事業実施	平成25年3月に策定した松原市新バリアフリー基本構想に基づき、河内松原駅周辺地区のバリアフリー化を進める。	平成25年度～	各事業者(道路管理者、施設管理者等)の連携が必要である。